

流山こどもステーション

—こどもの居場所となる高架下空間の利用—

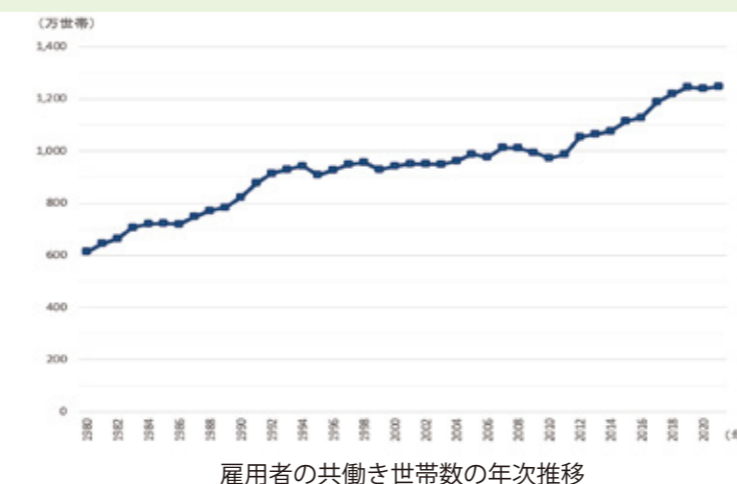
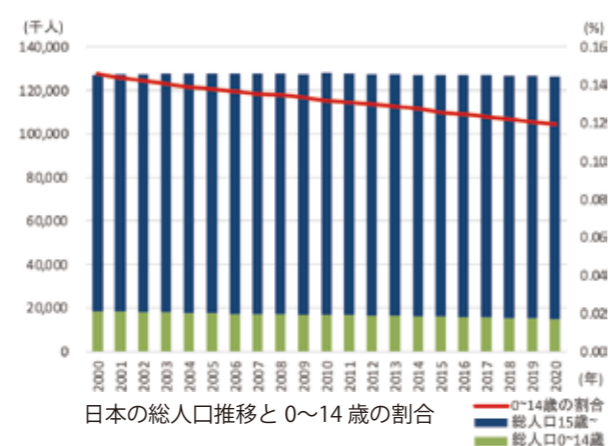


駅前では限られた敷地の中に保育所があり、園庭のない保育所が多く点在する。園庭のない保育所が園庭のように思う存分遊べる空間、親子の居場所となる空間を提案する。

社会背景

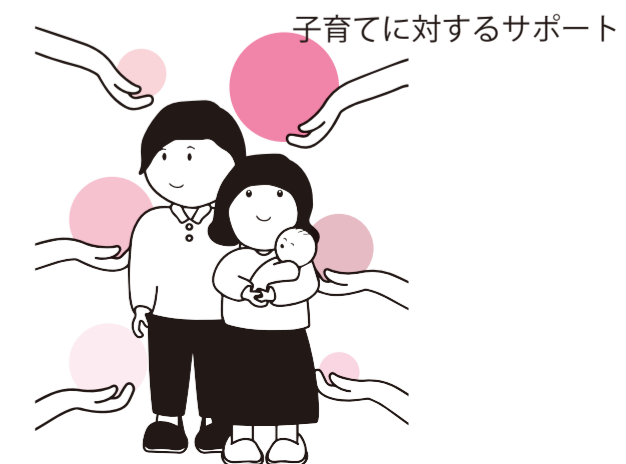
少子化問題

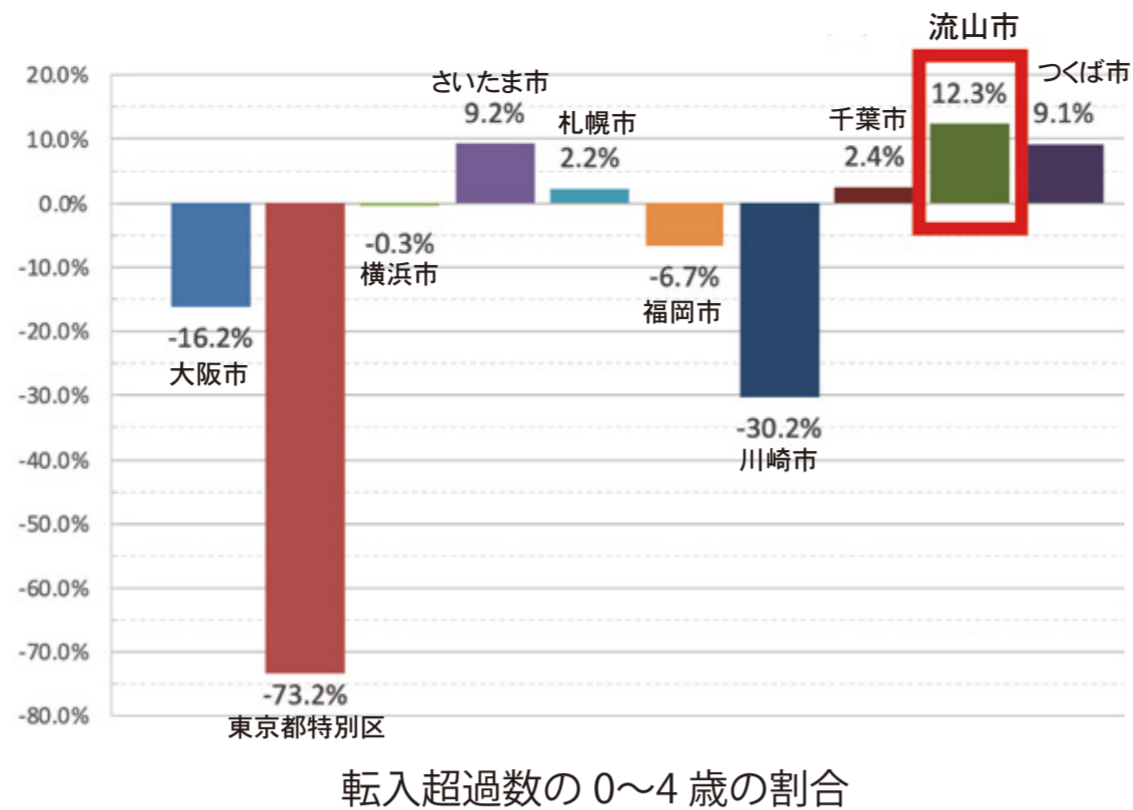
現在日本では少子化が進行している。少子化の大きな原因として、夫婦の出生力の低下、未婚化や晩婚化の進展があげられる。それらの背景には、仕事と子育ての両立の負担感、育児や教育コストの負担感などがある。



特に近年は共働き世帯が増加し、仕事と子育ての両立の負担感が大きな要因になっていると考えられる。

そこで、子育てのしやすさは少子化の解決につながると考えられる。





流山市は、2020年の転入超過数が全国9位で、政令指定都市を除くと1位である。内訳は0~4歳と25~39歳の転入超過数が大きく増えており、子育て世帯が増加していると考えられる。上位10都市の転入超過数の0~4歳の割合は、流山市が最も割合が高くなっている。

また、人口増加率が全国の市の中で1位で、子育て政策として、子育て応援マンションや送迎保育ステーションなどがあり、子育てに力を入れている。

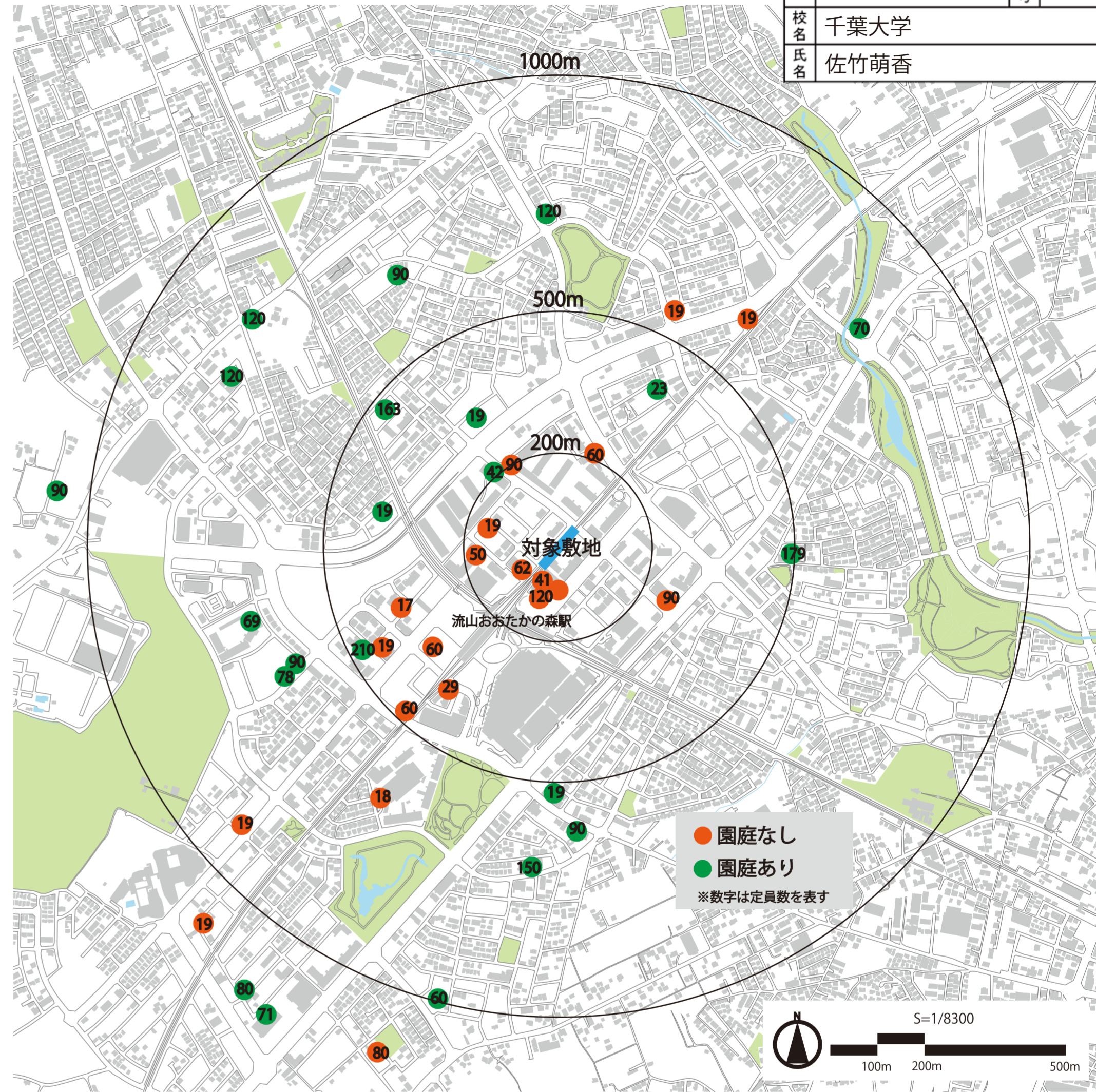


つくばエクスプレスのつくば方面の高架下（駅北東側）では駐輪場としての利用が多く見られ、駅前の活気はあまり感じられない。つくばエクスプレスの秋葉原方面の高架下（駅南西側）では、おおたかの森児童センター、cafe、セレクトショップなどがあり、高架下空間の有効利用が見られる。



▲セレクトショップ

◀おおたかの森児童センター



保育所の分布を見ると、園庭のない保育所が駅周辺に多く分布していることがわかる。

流山おおたかの森駅前のマンションKの住民へのヒアリング調査より、「流山市では子育てがしやすいと言われているが、実際には駅周辺には子供が遊べる場所がなく、車を出さないといけない」という不満が挙げられた。

流山市は子育てがしやすい街とされているが、実際には流山おおたかの森駅の周辺に外で遊べる場所が少なく、子育ての拠点となる場所がない。また駅周辺には、園庭のない保育所が多く点在している。

建築提案

高架下空間

- 通勤時に立ち寄りやすい
- 天候に左右されない
- 子育て拠点として好アクセス
- 高架下の通り抜けで人の行き交いが生まれる
- うるさくしても大丈夫

街の課題点

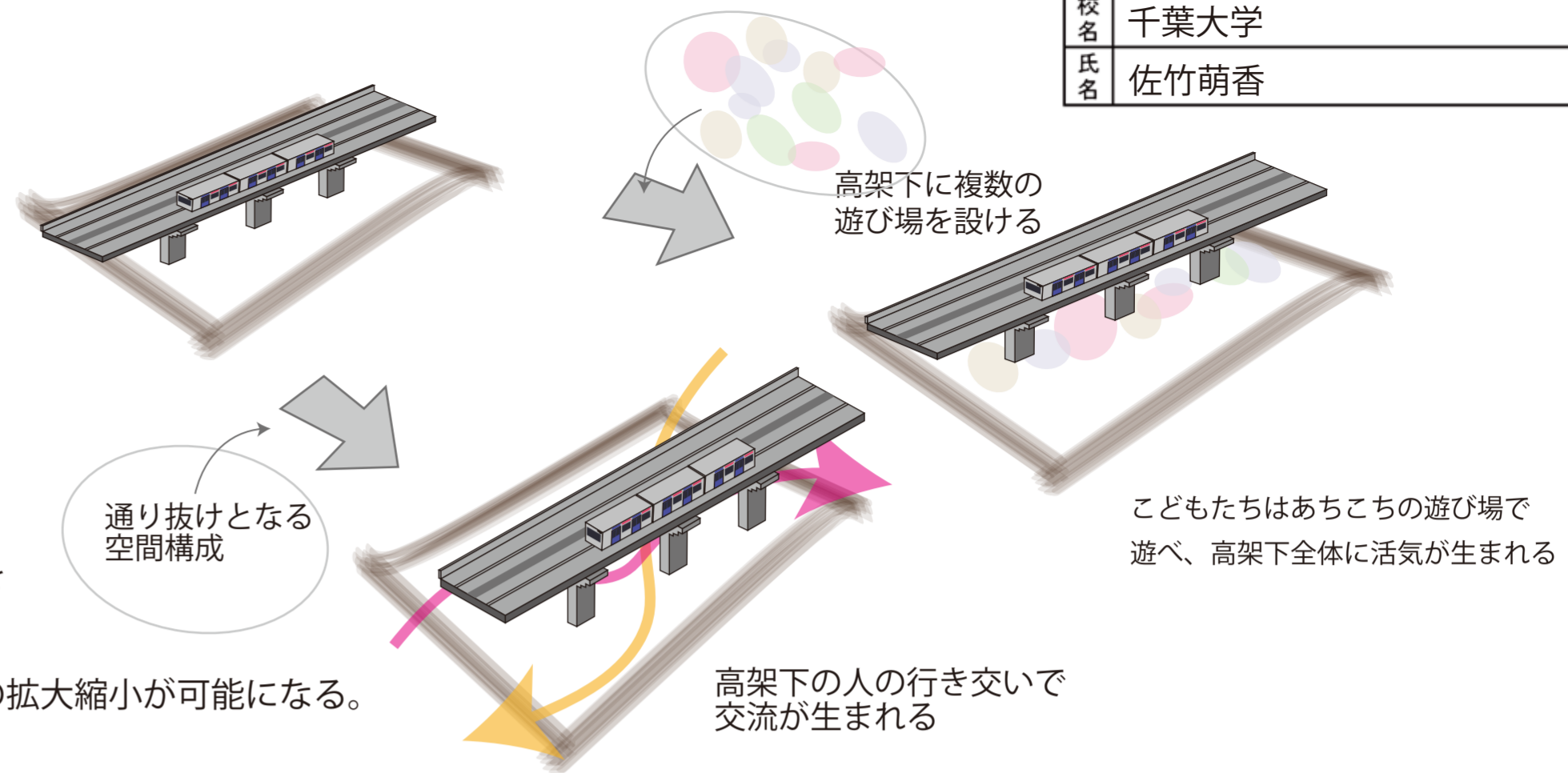
- 園庭のない保育所が駅周辺に多い
- 駅前に遊び場少ない
- 駅北東側の沿線上に活気が比較的少ない



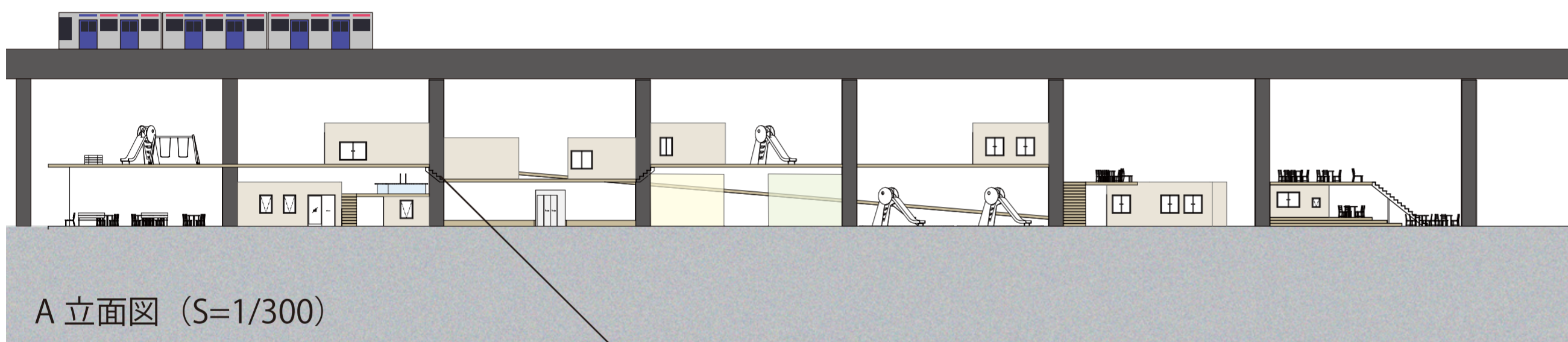
園庭のない保育所が園庭のように遊べる空間、親子の居場所となる空間を提案。

高架下を有効活用することで、流山おおたかの森駅周辺の人々の賑わいを沿線上へさらに広げる。

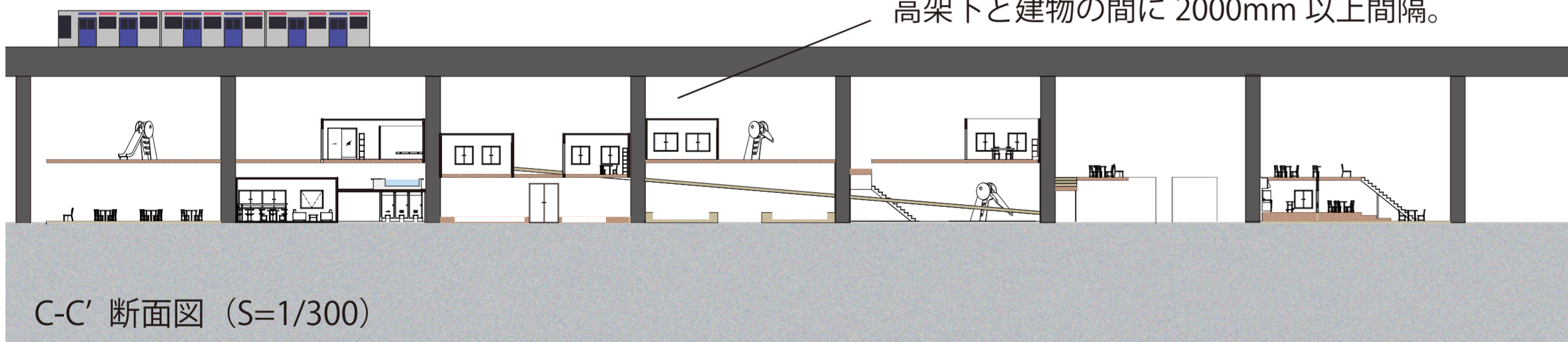
また、人口構成に応じて、施設の規模の拡大縮小が可能になる。



断面図・空間利用例

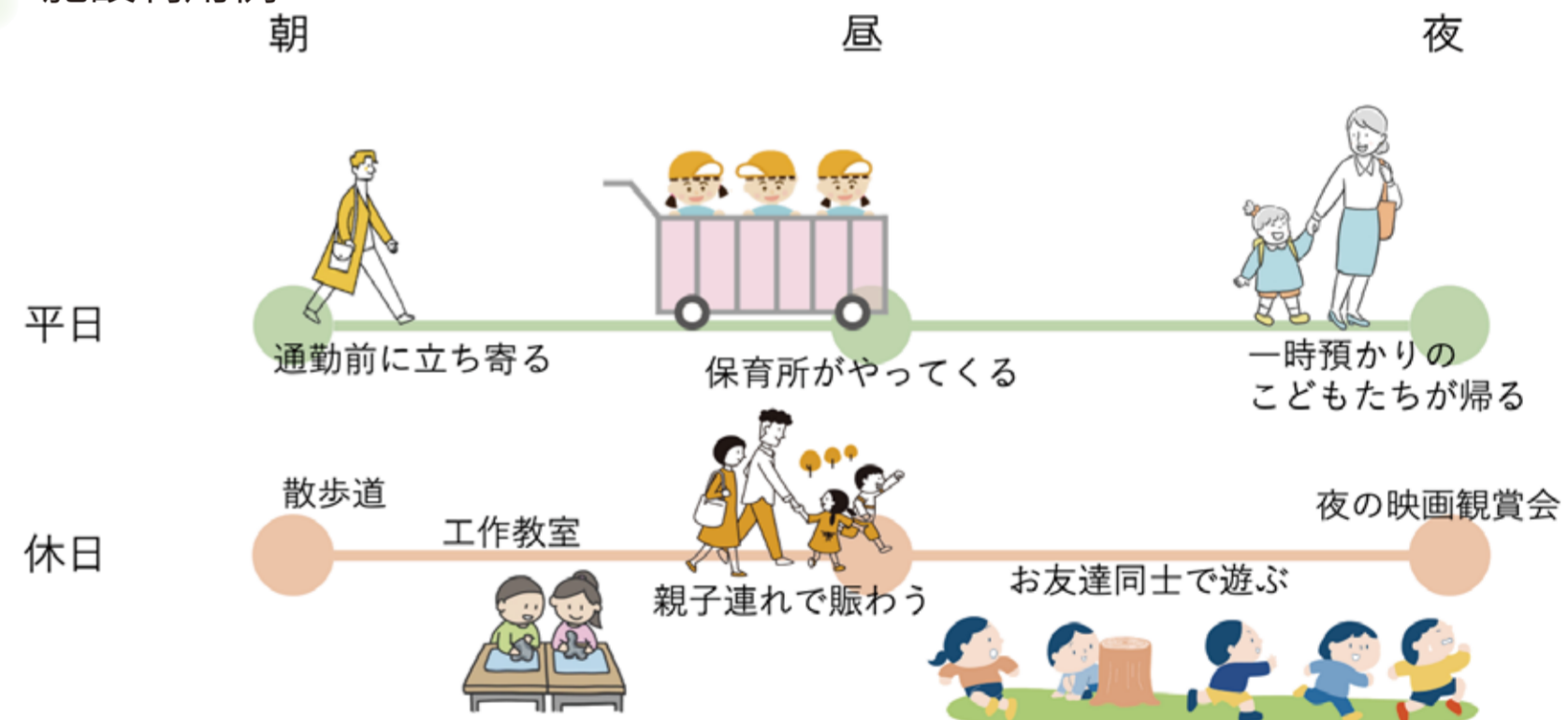


レベルを変えることで、異なる表情の空間になる。



高架下と建物の上に 2000mm 以上間隔。

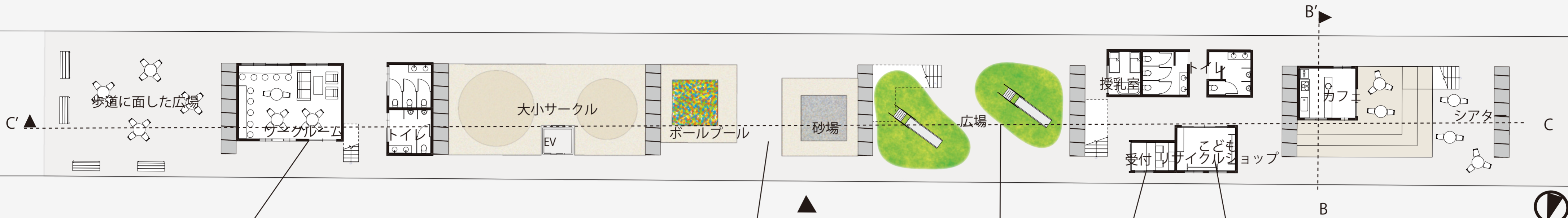
施設利用例



ロングスロープ

全長 60m のスロープ。
ここを登ると一時預かり保育・病児保育へアクセスできる。
1/12 の勾配になっていて、ベビーカーでの移動も容易。
さらに、スロープ下の空間では高さが狭い部分や広い部分があり、狭い部分はこどもの秘密基地のような空間にもなる。





砂場・ボールプール



空間はカーテンで区切れ、風通りがある目隠しになり安心して遊べる。

受付

園庭として利用する際、保育士がここで受付をする。
平日の日中は、こどもたちの遊び場は保育所限定となり、防犯面が守られる。

こどもリサイクルショップ

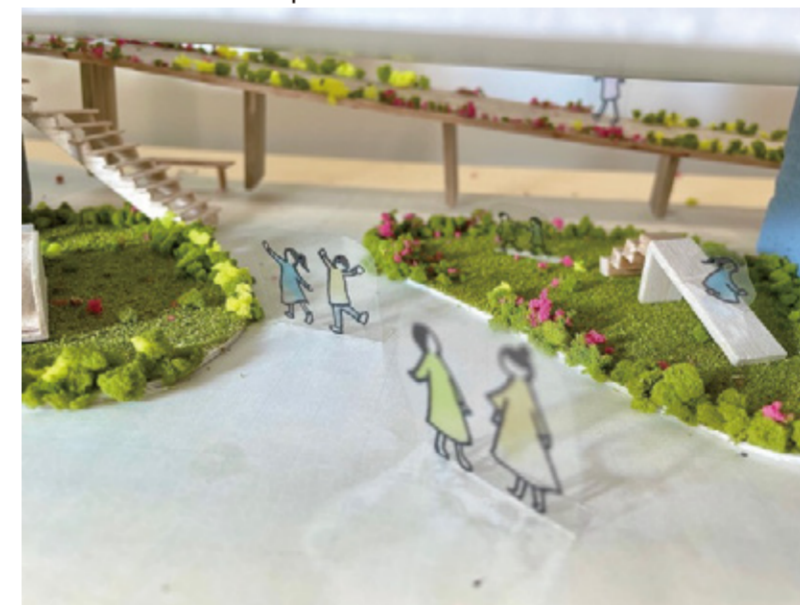


こどもの成長は早く、洋服はすぐ小さくなる。
着れなくなった洋服を持ち寄り、気に入った洋服を持ち帰れる。

ワークルーム

こどもを一時預かりしている間や、
工作室で遊ばせている間だけなど、
ちょっとした時間ワークできる。

広場



雨が降っても思う存分に遊べる広場。
平日は園庭のない保育所が園庭として利用し、
休日や夕方以降は誰でも使える広場になる。

大・小サークル



小上がりのなっていて、大と小のサークルが窪んでいる。
年齢等により遊ぶ空間を選べ、より安全な遊び場空間になる。

歩道に面した広場



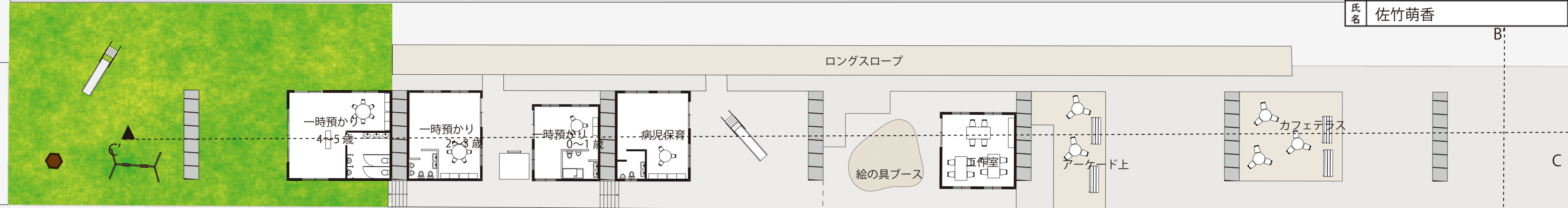
歩行者の休憩スペースとなる。

カフェ

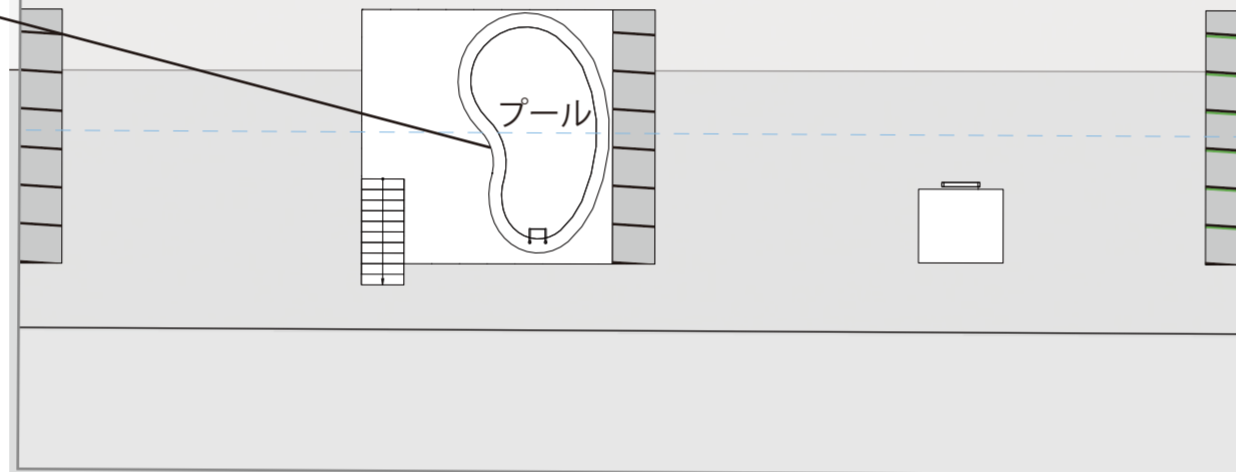


もっとも駅に近い部分で、子育て世代以外の利用が多く見られる。
シアターが設置され、通勤前後に立ち寄れる休憩スポットとして利用される。
カフェの上からもお茶をしながら映画を観れる。
段差の上にカフェがあり、座り込める。





2階平面図



プール

プールのない保育所がここでプール遊びをする。2階にあるため歩行者の視線を気にせず遊べ、着替える際などは、カーテンで目隠しできる。プールの水は下の階のトイレに再利用される。



一時預かり保育

0から5歳までを一時的に預けられる。この一時預かり保育では、年齢ごとに建物が分かれていて、安全にこどもを預けられる。さらに、雨でも遊べる広い園庭がある。



裏通路



保育士や病気の子の動線を分ける。

工作室



作品が展示されていたり、工作教室が開かれる。

絵の具ブース



汚れを気にせずのびのびと絵の具遊びができる。

アーケード空間



こどもリサイクルショップは毎日親子で賑わい、賑わう様子を上のアーケード空間から眺められる。

カフェテラス



カフェの上から映画を楽しめる。

